

MIKI SAWATAISHI

七宝、彫金、鍛金



自分らしく美を求めて

金属の輝きの中に咲かせた、紫色の小さなアジサイ。夏の始まりをイメージしたというこの作品は、澤田石さんが得意とする透胎七宝の技法によるもの。金属の下地を糸のこで切り出し、小さな透かし模様を一つ一つに表面張力の原理でガラス質の釉薬をのせて焼き上げた。模様を透かして見ると、光を通してステンドグラスのような柔らかな色を放つ。

透胎七宝のほかにも※空目銅や、異なる金属を結合させる接合合わせ、アートクレイシルバーなど、さまざまな工芸で器やアクセサリを作っている澤田石さん。七宝、彫金、鍛金、銀粘土の技術を併せ持つ。時には接合合わせにアートクレイシルバーやガラスを組み合わせるなど、工芸のジャンルの枠を越え、自由な作風で「自分らしさ」を追い求める。

だ。さらに秋田に戻ってから縁あって習い始めた空目銅。さまざまな工芸との出合いが独自の作風のもとになっている。



酒器(空目銅)



工房ジュエル

澤田石 みき さん

秋田市桜ガ丘1丁目12-19
TEL.018-832-3568

〈作品取扱店〉

秋田鼎眞
秋田市大町1-2-40
TEL.018-853-7470

食器のさかいだ
秋田市中通2-1-21
TEL.018-833-2843

「人によつては、あれもこれもいろいろな工芸に手を出して邪道だと言うかもしれない。それでも自分らしく、自分だから作り出せる持ち味を深めていきたい。誰も作ったことのない新しい作品に挑戦してみたいですね」

ものづくりの原点は、ふるさと五城目町。家具や建具、鍛冶など職人の手仕事を身近に見て育ち、いつしか「手に職を付けたい」と考えるようになった。職人の一本筋を通す生き方や「職人かたぎ」という言葉にも憧れた。ものづくりを学ぼうと入った専門学校で金工を、卒業後に就職した宝飾メーカーで七宝を学ん